

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

豊田地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

- ・豊田地区福祉保健計画推進母体である豊田地区支え合い連絡会において地区懇談会を開催し、改めて地域の課題を地域住民と共有し、以下の課題が挙げられています
    - サロンへの参加など、高齢者の移動に関する課題
    - 自治会町内会未加入者の把握、見守りの課題
    - ちょっとサポートや自治会・地縁で解決している困りごとへの対応の課題
  - ・上記以外にも、地域包括支援センターへの相談での関わりや居宅・通所の介護保険部門からは以下の課題も見えてきています。
    - 徘徊する認知症の方への対応
    - 高齢の親とひきこもりや障害のある子どもの世帯への対応
- また、生活支援体制整備事業や地域活動交流事業等からは
- 介護予防活動や社会参加活動の増加に関する課題
  - 子どもの貧困や居場所に関する課題
- なども挙げられています。

#### (2) 相談(高齢者・こども・障害者分野等の情報提供)

- ・地域の身近な相談窓口として、高齢者に限らず 65 歳未満の精神疾患を有する方などを含め、様々な相談に対応し、相談内容に応じて区役所を始め、適切な地域の関係機関と連携し支援を行いました。
- ・相談票の台帳管理を行い、区役所や病院などの関機関からの問い合わせに対し、緊急性を判断した上での必要な情報提供や継続的にケースの状況把握を行うことで支援を行いました。
- ・町内会等の地域への出前講座(1 回)、地域活動の会議、高齢者サロン等に参加し、プラザの機能や役割の周知と健康・介護予防の啓発、地域ニーズの把握に努めました。

#### (3) 各事業の連携

- ・地域活動団体の会議、ミニデイ・サロン連絡会等各ネットワークを活用してニーズを把握し出前講座や研修会を開催しました。(3 回)
- ・地区担当制を導入し、5 職種全員で連携し、地域情報の把握、アセスメントの実施、支援方法の検討などを共同で行いました。
- ・職員会議後に地域情報共有を行い、地域支援に関する情報共有を図りました。(12 回)
- ・生活支援コーディネーターを中心に介護予防事業やケースカンファ等個別支援においても部門を超えて情報共有し、より良い支援が行えるよう努めました。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・平成 29 年度は常勤 11 名、非常勤 33 名の体制で地域交流、地域包括支援センター、生活支援体制整備、通所介護、居宅介護支援の 5 部門を担いました。常勤職員は、経験年数に応じた法人内外研修、職員連絡会におけるスキルアップ研修などにより育成していくとともに、目標管理による自己評価を行いモチベーションの向上を目指しました。
- ・非常勤職員も経験豊かな介護支援専門員や主任介助員や介護福祉士の資格を有する介助員がおり大きな戦力となっているため、法人内外の研修会、部門ごとの会議の場を通じてスキルアップを進めました。
- ・法人の人材育成計画に基づいた研修の受講とともに、当施設の業務課題に応じた職員研修を随時開催して行くことにより専門性の向上を目指しました。また部門ごとにミーティングの場を利用したスキルアップ研修を実施しました。
- ・人材育成に関し、各部門において法人内研修や連絡会を利用することで必要なスキルと情報を得ることが出来ました。研修においては、職場内で職員が参加しやすい環境を構築することで、職員自身による自主的な申出により多くの職員が研修に参加しました。研修参加者は報告書を作成し、参加していない他の職員に対しても伝達と情報提供を行いました。
- ・新人育成リーダーを配置し、特に新人育成に関し、計画的、継続的な指導を行える体制を整え、新人育成を行いました。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・区・区社協・ケアプラザの地区担当者が定期的に情報交換や計画の進捗状況の確認を行い、活動支援について検討しました。(12 回)
- ・福祉保健計画推進の進捗状況確認を含めた地区社協との会議を定期的に行い、活動を支援しました。
- ・支えあい連絡会の活動として要援助者ネットワーク委員会、子どもネットワーク委員会、広報編集委員会、あいさつ運動推進委員会を開催しました。  
(各委員会合計 26 回)
- ・支えあい連絡会と協働し、第 3 期地域福祉保健計画地区別計画を推進しました。

#### (6) 区行政との協働

- ・計画の推進支援について、地区支援チーム会議等に参加し、定期的に検討しました。
- ・地域のサロン等に出向きニーズを把握し、区役所の協力を得ながら出前講座を実施しました。
- ・個別ケースについては適宜区と共有を図りながら対応しました。
- ・豊田地区学齢期の子どもたちの地域支援委員会では子ども家庭支援課と協働し、学齢期の子どもたちの新たな課題発見につとめました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・近所の高齢者の交流の場作りと安否確認を目的に、ボランティアの協力のもと茶話会を開催しました。(11回)
- ・子育て支援として、子育てサロンを開催しました。  
子育てティーサロン(23回)親子の広場ぽっかぽか(12回)
- ・子育て支援として、栄区地域子育て支援拠点(にこりんく)と栄区と協力して、食育講座を開催しました。(2回)
- ・障がい児の余暇支援事業により、地域の障害関係機関や笠間地域ケアプラザと連携し、障がい児と地域との交流の場を設けました。(4回)
- ・町内会自治会・サロン・地域住民等を対象とした講座(サロン連絡会兼認知症理解講座 1回・発達障害理解講座 1回)を豊田地区地域支え合い連絡会と共催しました。
- ・飯島小学校・豊田小学校の生徒に対し、認知症サポーター養成講座や、車いす体験や、高齢者や障害者の疑似体験を通じた福祉教育を実施しました。(7回)
- ・豊田地域ケアプラザと豊田地区センター共催で祭りを開催し、大勢の参加者を募れたことによりケアプラザのPRに繋がりました。(1回)
- ・豊田スタイルを包括支援センター、生活支援コーディネーターと共催し、ボランティア活動へのきっかけづくりを行いました。(9回)

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・広報紙や事業紹介のチラシの回覧・配架、ケアプラザ祭りの開催、サロン訪問と通じ、地域活動拠点の提供と、誰でも使える福祉保健の場の提供を広く地域に周知しました。
- ・毎月月初めに行う会場利用申込の日や、年1回行う会場利用団体連絡会にて、夜間・休日は会場予約に空きのあることを周知し、会場利用の促進を行いました。
- ・会場利用団体連絡会を開催し、改めて利用方法の周知を行うとともに、ケアプラザ・利用団体双方の意見交換を行い、より良い貸館利用を検討する場を設けた。(2回)

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・団体Ⅱに対して福祉保健活動に繋がるボランティア活動情報を提供しました。また、障がい児余暇支援事業等の支援者を募るため、ボランティア協力を地域に発信しました。
- ・栄区 CO 連絡会にて区ボランティアセンターからボランティア情報が発信されることで情報共有を行ないました。(6回)
- ・障がい児余暇支援事業等の自主事業への支援を貸館利用団体等に呼びかけ、ボランティア活動に繋げました。
- ・子育て支援ボランティアや男性ボランティアグループと協働し、子育てサロン・障がい児余暇支援事業・介護予防事業等を開催しました。
- ・地域団体が取り組む子どもの居場所づくりについて、勉強会を重ねながら地域住民を活動の担い手へと繋げました。
- ・地域活動体験講座(夏ボラ講座)を開催し、地域行事や福祉施設等へのボランティア活動の場を提供することで、地域への関心やボランティア意識を高めるとともに、社会参加の機会にも繋げました。
- ・地域福祉保健計画のテーマである「見守りの仕組みづくり」を推進するため、障害者を雇用している企業訪問、発達障害児者の家族を講師として講座を開催し、地域に対して障害理解を進めました。
- ・ケアプラザ秋祭りを通じてボランティア活動の機会や場を提供しました。また事業以外の作業を団体のボランティア活動の場として提供しました。
- ・シニアボランティアポイント説明会を開催し、ボランティア活動のきっかけづくりをしました。(1回)
- ・若年性認知症の人と家族のつどい(笑風の会)を区内ケアプラザ 6 館共催しました。(3回)

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・サロン連絡会に認知症グループホームに講師を依頼し認知症の理解と認知症の阿多への対応方法についての講座を開催しました。
- ・会場利用団体連絡会を開催し、ケアプラザと会場利用団体と意見交換、貸館や貸出品等の情報提供を行いました。(2回)
- ・ボランティア交流会を開催し、ボランティア紹介等を行いました。ボランティア同士のつながりを作ることができました。(1回)
- ・広報紙(豊田地域ケアプラザだより)を毎月発行することで、地域活動者の情報やケアプラザの事業、協力医により医学情報等を地域に発信することができました。(12回)
- ・ホームページに広報紙・子育てカレンダーを定期的に掲載しました。また各種事業に関する情報も掲載しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・地域情報を把握し、より詳細な状況を把握するため、各地区担当と情報共有、検討を定期的に行いました。
- ・介護予防の必要性を継続して啓発するため、サロンや地域活動に参加し介護予防体操、認知症予防について啓発活動をしました。また町内会館等を利用し、3Aプログラム、スクエアステップなどの定期的に講座を開催しました。(2か所 24回)
- ・地域での見守りに関する取組を地区別計画に合わせ、関係機関とともに検討し、住民支え合いマップ研修会、マップづくりの実践を行いました。(講座2回 実践1か所)
- ・地域活動交流と包括支援センターと連携し、地域活動・担い手に関する講座を開催しました。介護予防、生きがいづくり、地域活動へ繋げることができました。(9回)
- ・栄区6地域ケアプラザ、栄区社会福祉協議会と共催し、生きがいづくり、介護予防から地域活動へのきっかけづくりを目的とした講座を開催しました。(3回)
- ・地域包括支援センターと共催し、介護者の集いを認知症サロンとして、本人の居場所を提供しました。また地域にボランティアを呼びかけ、参加してもらうことにより、認知症の理解を広めました。
- ・高齢者の居場所として「豊田レコード喫茶」を開催。地域のボランティアの活動の場として開催しました。(12回)
- ・栄区6ケアプラザ共催で若年性認知症サロンを開催しました。(3回)

#### (2) 地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)

- ・各町別に相談件数、内容を分析し地域状況を把握しました。分析した内容を民生委員や地区活動者との情報交換会、ケア会議等にしました。
- ・把握した地域情報を地区の地図上に記載し、5職種で分析し、身近なところで集える居場所等について支援方針を検討しました。
- ・支え合い連絡会で実施した健康づくりアンケート調査を精査し、インフォーマル情報としてまとめました。活動状況の確認を継続して行います。
- ・支えあい連絡会を通し、町内会自治会での取組や地域活動団体の取組について把握することができました。

#### (3) 連携・協議の場

- ・地域のミニデイやサロンを実施するボランティア団体の連絡会を開催し、認知症の理解、認知症の方への対応方法について講座を開催しました。
- ・支えあい連絡会、各小委員会と連携し、居場所づくり、見守り体制の構築等について協議しました。
- ・栄区6地域ケアプラザ、栄区社会福祉協議会と連携し、地域サポート活動についての情報交換会を開催し、活動の継続・拡充を図りました。(1回)
- ・地域ケア会議や支え合い連絡会等において、地域の高齢化に関する課題を共有し、対策を検討していく場として「協議体」を設定し、見守りの体制づくりについて検討しました。(協議体11回)

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・栄区 6 地域ケアプラザ、栄区社会福祉協議会と共催し、ボランティア活動団体(地域お助けサポート)の周知やボランティアの育成を目的とし、活動団体の連絡会の開催、情報交換の場を作りました。
- ・認知症高齢者や要援護者の見守り活動について、豊田地区地域支え合い連絡会、見守りネットワーク委員会と連携し、地域のなかで安心して暮らせる環境づくりを検討しました。
- ・飯島町 8 町内会自治会で取組を行っている、ちょこサボグループ(飯島お手伝い隊)の立ち上げ支援を行いました。
- ・子どもから大人まで世代を問わない居場所「たまり場とよだ」の立ち上げ支援を行いました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1)総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・支えあい連絡会への参加を中心として、地域住民や民生委員児童委員等の支援者との地域のネットワーク構築を行いました。(2回)
- ・生活支援コーディネーターと協力し、豊田地区の民生委員とケアマネジャーとの懇談会を開催し、地域関係者とのネットワークを構築しました。(2回)
- ・豊田地区の医療職(薬剤師等)やケアマネジャー、各サービス事業所(ヘルパー訪問看護、通所介護等)との情報交換会を開催し、連携および協力体制を構築しました。(1回)
- ・個々のケースに対して、各関係機関が関わっている場合には、支援関係者間でカンファレンス等を開催し情報共有を行い、連携した支援が行えるように支援関係者間のネットワークを構築しました。

#### ② 実態把握

- ・個別相談や関係機関・地域活動団体から寄せられる相談内容から地域情報の把握を行いました。また、各町会の相談実績から地域傾向の把握を行いました。
- ・見守りネットワーク委員会に参加し、見守り関係団体との情報共有を行いました。(6回)
- ・NPO法人積み木の配食配達員との情報交換会を行い、地域高齢者の生活状況の把握を行いました。また包括からも地域の状況について情報提供を行いました。(1回)
- ・地域活動団体の活動報告等から地域ニーズの把握を行いました。
- ・運営協議会や支えあい連絡会などの会議を通じて地域状況を把握しました。
- ・出前講座(エンディングノート・認知症予防・口腔ケア・熱中症予防など)の実施を通じて、各町会の地域状況の把握を行いました。

### ③ 総合相談支援

- ・要援護者本人はもとより、介護に関わっている家族・親族の支援を含めて、相談支援関係機関との連携・協力しながら支援を行いました。
- ・区の担当者と定期的にカンファレンスを開催し、個別ケースの共有を行いました。(12回)  
また、ケアマネジャーや地域関係者から相談を受けた困難事例については、区役所をはじめ、関係各所と連携・協力しながら支援を行いました。(通年)
- ・相談記録に残し、個人情報の取り扱いには十分に注意しながら相談記録の台帳管理を行い、継続的に個別支援を行いました。
- ・相談内容に応じて、介護者の集い、転倒予防教室、認知症予防教室、ご近所茶話会、レコード喫茶などの情報提供を行い、各種事業や地域活動への参加に繋げるよう取り組みました。
- ・区の包括連絡会(12回)や法人内の包括連絡会(1回)、保健師分科会(12回)、主マネ分科会(区12回・法人内4回)、社福分科会(区12回・4回)、に参加し、情報収集を行うとともに区内の関係機関とのネットワーク作りを行いました。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・月ごとに区内6ケアプラザ持ち回りで権利擁護相談会を開催しました。
- ・地域のサロン等へ出向き、包括の相談機能等の普及啓発を行いました。
- ・民生委員や地域住民・ケアマネジャーの相談から必要に応じ、市・区役所・区社会福祉協議会、成年後見制度関連機関や消費生活総合センターなどに繋ぎ、連携支援を行いました。
- ・個別相談に生かせる専門家との関係づくりを推進するために、区の成年後見サポートネット及び分科会に参加しました。(3回)

### ② 高齢者虐待への対応

- ・区と虐待ケースを一覧化して、定期的なカンファレンスの場にて共有し、関係機関との役割を確認しながら対応しました。
- ・区内地域包括支援センター共催でサービス事業所を対象に出前講座を実施しました。(2回)
- ・介護者の集いの開催し、虐待の予防に取り組みました。(4回)
- ・区と協働し、虐待防止指針に沿ってネットワークミーティングの開催や緊急対応を行うとともに、介護保険等のサービス利用の支援やケアマネジャー等の支援者のフォローを行いました。

### ③ 認知症

- ・認知症予防プログラム「スリーAプログラムの会」介護予防教室を開催しました。(24回)
- ・認知症予防プログラム「AIAIAIの会」を飯島自治会館で実施し、認知症予防の普及啓発を行いました。(12回)
- ・区内地域包括支援センターおよび生活支援部門、地域交流部門と協働し、若年性認知症のつどいを開催し、本人の居場所の提供と家族支援を行いました。(3回)
- ・地域活動交流部門と協働して、地域活動者や小学生など幅広い年齢層に向けて認知症サポーター養成講座を開催し、地域にむけて認知症の知識啓発を行いました。
- ・区と協力して、徘徊ネットワークの普及および活用に取り組みました。
- ・地域ケア会議で「認知症」をテーマに地域参加者と関係者で話し合いました。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・地域懇談会および地域ケア会議(包括レベル)の開催を通じて、主に高齢者を取り巻く地域課題の共有を行い、地域課題の解決について地域の関係機関、関係者間で検討を行いました。(1回)
- ・飯島団地いきいきネットワーク連絡会に参加し、団地内の実態把握および課題の把握を行い、地域の情報提供および協働を行いました。(4回)
- ・地域の小規模多機能居宅事業所(1施設)およびグループホーム(4施設)、地域密着型通所介護施設(2施設)の運営推進会議に参加し、情報共有と情報発信を行いました。
- ・地域のミニデイ・サロン連絡会に参加し、各団体の実態把握および情報共有を行いました。(1回)
- ・地域の福祉活動団体と連携し、情報の収集と情報発信を行いました。
- ・見守りネットワーク委員会の会議に参加し、地域の見守りの仕組みづくりについて検討を行いました。

#### ② 医療・介護の連携推進支援

- ・在宅にて医療ニーズの高い高齢者の生活支援を行うために、地域の個人病院や拠点病院、訪問看護ステーションとの顔の見える関係作りを行うとともに、地域のケアマネジャー向けの研修会(6包括共催)の開催を行いました。(4回)
- ・地域の6薬局とケアマネジャー、サービス事業所との懇談会や情報交換会を開催し、介護と医療との連携および協力体制の構築を行いました。(1回)

#### ③ ケアマネジャー支援

- ・区内のケアマネジャーを対象とした勉強会を行い、情報伝達とスキルアップを図りました。(3回)
- ・支援困難事例については、区と包括の呼びかけによりカンファレンスを開催し、関係機関と協力しながら支援を行いました。必要性に応じて、ケアマネジャーと同行訪問を行い、本人・家族の状況把握とアプローチを行いました。
- ・区内の6包括の主任ケアマネジャーと協力し、新任・就労予定ケアマネジャーを対象とした研修(勉強会・施設見学など)を開催しました。(4回)

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議



多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・地区懇談会および地域ケア会議(包括レベル)の開催を通じて、地域における主に高齢者の生活課題を共有し、今後の支援方法について、区・包括・町内会自治会・民生委員・ケアマネジャー・医療関係者・サービス事業所等の多職種と検討を行いながらネットワーク作りを行いました。(1回)

(5)介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

・市や区役所、区内ケアプラザ、法人内の介護予防支援および介護予防ケアマネジメント業務に関する研修に参加し、自己研鑽を通じて自立を目指したケアマネジメントの実践に努めました。  
・介護予防プラン作成の委託を行っている居宅介護支援事業所との連携を強化し、初回訪問時からプラン作成に関する必要な助言と情報提供を行い、定期的な予防プランの内容確認と助言・指導を行いました。

(6)一般介護予防事業

一般介護予防事業

・介護予防の普及のため介護予防プログラムを実施しました。  
・生活支援、地域交流と共催で介護予防事業及び地域デビュー講座「豊田スタイル」を開催しました。「栄養・調理編」「生活・DIY編」「健康・運動編」で健康維持と介護予防の啓発に努めました。(3講座)  
・転倒予防の「豊田スクエアステップ」毎月2回定期開催をしました。(年24回)  
・「豊田スリーAプログラムの会」(ケアプラザ)月2回、「AIAIAIの会」(飯島町内会館)・月1回、地域の方が認知症予防に意識し、予防できるように開催しました。  
・けやきの会、本郷台ふれあいサロンにて口腔ケア講座を行いました。  
・ご近所茶話会、サロンドアイなどにて栄養かるたを実施しました。  
・地域の介護予防、健康づくりを目的に区と協力しながら、元気づくりステーション事業の支援、フォローを行いました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

- ・施設管理標準を作成し、管理標準に沿って日常的に職員による目視等点検や異常の早期発見に努め、月1回各部屋のチェックを行いました。さらに専門業者による保守及び定期点検を行い、適正な維持管理に努めました。
- ・老朽化や付属設備の耐用年数が近づいてきたものが多くあり、施設全体における修繕の必要な箇所を把握し、配管の水漏れ修繕等区とも協議しながら計画的に修繕を行いました。

### (2) 効率的な運営への取組について

- ・昨年度に引き続き、入札による管理委託費のコストダウン、管理標準導入による移動光熱費等一般管理費削減、職員の超過勤務抑制などにより経費の削減に努めました。
- ・業務マニュアルの利用や業務を見直し、施設の効率的な運営を行い、情報共有や、部門間の連携・協働を行うことで、より効果的な事業を展開してきました。

### (3) 苦情受付体制について

- ・苦情解決については、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会苦情解決規則に基づいて受付担当者(常勤職員1名)と実務責任者(所長)を置き、苦情の適切な解決に努めました。  
平成29年度は苦情が1件発生しました。業務担当者・受付担当者・実務責任者で、適切な対応を行い、ご了解をいただくことができました。
- ・法人内他施設で起きた苦情についても、職員会議等で共有し、苦情発生の予防につとめました。

### (4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

- ・施設内独自の緊急連絡網と事故対応マニュアルにより、火災、自然災害、事故等、様々な緊急事態に、迅速かつ的確に対応できるよう備えました。防災訓練は、年間2回実施し、通所介護利用者や館内利用者も含め行いました。防犯に関しては、夜間の戸締りチェックを行うとともに、機械警備により防災・防犯に取り組みました。また、法人全体としても緊急連絡網と災害発生時等の職員配置体制ガイドラインを設け、組織全体で自然災害等、不測の事態に対応できる体制を整えました。
- ・機械警備について、緊急通報システムを追加し、不審者対応等の際に速やかに警備会社に通報できるシステム構築を行っているとともに、施設入口に防犯カメラも設置しています。
- ・防災拠点・特別避難場所としての機能が十分発揮できるよう、備蓄庫や備蓄物品の点検、職員対応の検討を行いました。
- ・特別避難場所開設訓練を実施し、特別避難場所避難物資保管場所の確認や立ち上げシミュレーションを行い、職員全体で共有しました。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・施設の利用者に対して、転倒や事故防止に努めてまいりました。当施設で作成した緊急時対応マニュアルの再読を職員に喚起して事故防止への意識を高めました。
- ・法人全体の地域ケアプラザにおける事故事例を共有し、注意喚起を図りました。
- ・ヒヤリハット事例についても職員間で共有し、事故防止に努めました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めました。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する所内研修を実施し、意識啓発を図りました。さらに、法人内他施設で個人情報漏えいの事例が発生した場合は、職員間で情報共有を行い、個人情報漏えいの予防に努めました。
- ・郵便物発送時や、FAX送信時にはダブルチェックを徹底し、誤送付防止に努めました。FAX送信記録簿を作成し、誤発信等の事故予防に努めました。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・市民等から情報公開請求があった場合には、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する情報の公開に関する規程及び同規程施行規則により、一定の決まりに沿ってこれに対応する体制で臨みました。
- ・豊田地域ケアプラザに関する情報(事業計画・報告、広報紙など)は、ホームページ上で公開しました。

#### (8) 人権啓発への取組について

- ・職員全体会議において人権研修を実施し、非常勤を含めた職員全体の人権に対する意識啓発を図りました。
- ・法人で開催される人権研修に職員 2 名が参加し、研修報告を供覧し、職員の人権意識向上を図りました。

#### (9) 環境等への配慮及び取組について

- ・横浜市資源循環局の推進するゴミの減量と分類に呼応し、廃紙やファイルの再利用事業ゴミの分別に日常的に取り組みました。また、事務用品も再生紙などリサイクル品の使用を積極的に進めました。
- ・日常的に冷暖房時の適正な温度管理や使用していない部屋の消灯を行い、貸館に関しても施設利用者にご理解とご協力を求め、なお一層の省エネルギーに努めました。また、グリーンカーテン設置による環境への配慮、太陽光発電の実施、夏のライフスタイル(軽装での勤務)の期間延長にご理解とご協力をいただき、事務所の冷暖房に係る光熱費の節減など身近なところから省エネルギーに徹した取組を行いました。

## 【介護保険事業】

### ●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 主任ケアマネジャー	1名	(常勤兼務)
保健師等	1名	(常勤兼務)
社会福祉士	2名	(常勤兼務)
社会福祉士	1名	(非常勤専任1名)
介護支援専門員	1名	(非常勤専任1名)

#### 《目標に対する成果等》

- ・要支援 1・2 と認定された高齢者が生活目標を持ちながら日常生活を送っていただけるように、利用者と家族との協同作業による介護予防プランの計画に努め、目標達成のために必要なサービス提供及び支援を行いました。
- ・住み慣れた地域で地域の方々との繋がりを持ち続けながら生活を送っていただけるよう、地域のインフォーマルサービス(介護保険外サービス)も交えながら介護予防プランの作成を行いました。
- ・サービス決定に関しては利用者の意向を尊重し、偏りのないサービス事業所の選定による支援を行いました。
- ・介護予防委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との日常的な情報交換および情報伝達を行い、定期的に介護予防プランの内容やサービス内容を確認しながら支援を行いました。

#### 《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- 担当者が、サービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

#### 《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・地域活動交流部門と生活支援コーディネーターと協力しながら、介護予防事業者や地域のインフォーマル活動団体との関係づくりを行い、サービスBの活動に対し助言及び支援を実施しました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
193	213	214	214	205	231
10月	11月	12月	1月	2月	3月
228	220	229	232	248	251

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 介護支援専門員 1名(常勤専任1名)  
 介護支援専門員 3名(非常勤専任3名)

《目標に対する成果等》

- ・利用者・家族の話をしっかり傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを実践しました。
- ・利用者がサービス利用に際して、適切な判断ができるように専門用語を多用せずわかりやすい説明を行いました。
- ・介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積しました。
- ・個人情報を取り扱いには細心の注意を図り、個人情報保護に努めました。
- ・法令遵守し、安定した介護報酬を確保に努めました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- 担当者が、サービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・横浜市社会福祉協議会運営のメリットを活かし、地域住民のボランティア活動等インフォーマルサービスの情報を共有し、利用者のニーズに応じて介護保険サービスのみならず、インフォーマルな活動と連携したコーディネートを行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
138	128	140	146	135	130
10月	11月	12月	1月	2月	3月
122	133	133	124	119	126

● 通所介護・第一通所介護事業

《提供するサービス内容》

送迎／食事／生活相談／介護サービス／入浴／レクリエーション／健康チェック

《通所介護実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

	1割負担	2割負担
要介護 1	614 円	1,227 円
要介護 2	725 円	1,450 円
要介護 3	837 円	1,673 円
要介護 4	948 円	1,896 円
要介護 5	1,060 円	2,119 円

各種加算等	1割負担	2割負担
サービス提供体制強化加算Ⅰ口	13 円	26 円
入浴加算	54 円	108 円
食費負担	750 円(キャンセル料 500 円)	

《第 1 通所介護事業実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

	1割負担	2割負担
要支援 1	1,766 円	3,531 円
要支援 2(週 1 回利用)	1,766 円	3,531 円
要支援 2(週 2 回利用)	3,621 円	7,241 円

サービス提供体制強化加算Ⅰ口	1割負担	2割負担
要支援 1	52 円	103 円
要支援 2(週 1 回利用)	52 円	103 円
要支援 2(週 2 回利用)	103 円	206 円
食費負担	750 円(キャンセル料 500 円)	

《事業実施日数》 週 7 日 年末年始を除き年間 359 日

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

管理者	1 名(常勤)	＜1 日の配置モデル＞	
生活相談員	3 名(常勤)	生活相談員	1～2 名
介護員	17 名(非常勤)	介護員	4～7 名
看護師(機能訓練指導員)	4 名(非常勤)	看護師	1 名
送迎運転員	4 名(非常勤)	送迎運転員	2 名
調理員	5 名(委託)	調理員	2 名

《目標に対する成果等》

- ・「自立支援」と「重度化防止」を軸に、コミュニケーション(人との関わり)を大切にサービス提供を行いました。
- ・介護保険関係の各種法令・通達について情報収集し、法令遵守に努めました。
- ・介護技術をはじめ、専門職として必要な技術・知識の向上に努めました。

- ・快適な環境を目指し整備を行いました。
- ・ご利用者の安全・安心の確保のため、スキルアップ研修、リスクマネジメント研修を行い。また、各種会議を利用し、ヒヤリハットを活用した事故予防対策、感染症予防対策、最新制度について情報を共有しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・選択レクリエーションを導入しサービスの向上と充実した時間が過ごせるように努めました。
- ・音楽(ピアノ演奏、ハーモニカ、カラオケ、キーボード演奏等)や、俳句、囲碁・将棋・麻雀・折り紙など、ボランティアの方々のご協力を得て、ご利用者の幅広いご希望に対応できるようにしました。
- ・自立支援に向け、デイルームのレイアウト変更を行い、ご利用者さんに安全に行動していただけるよう。動線の確保を行いました。
- ・地域との連携を大切にし、小中学校等の福祉教育や初めてボランティアする方も積極的に受け入れ、福祉の体験の場としての提供を行いました。

《通所介護利用者実績(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
592	629	597	566	602	604
10月	11月	12月	1月	2月	3月
633	611	566	493	477	533

《第一通所事業利用者実績(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
101	110	117	125	127	121
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	103	80	84	90	105

平成28年度「豊田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,643,928	△ 1,183,350	15,460,578	15,460,578	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	232,550	△ 232,550	自主事業参加費
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	88,043	△ 88,043	
印刷代	0		0	82,264	△ 82,264	印刷機使用料
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	5,779	△ 5,779	公衆電話料金、資源ゴミ収入
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,514,652		1,514,652	1,514,652	0	
収入合計	20,136,080	△ 1,183,350	18,952,730	19,273,323	△ 320,593	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,501,000	0	11,501,000	9,017,378	2,483,622	
本俸	8,166,000		8,166,000	6,956,588	1,209,412	
社会保険料	800,000		800,000	517,243	282,757	
手当計	1,000,000		1,000,000	1,446,248	△ 446,248	
健康診断費	20,000		20,000	947	19,053	
勤労者福祉共済掛金	15,000		15,000	5,750	9,250	ママさん足球
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000	90,602	1,409,398	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,703,000	0	1,703,000	2,097,083	△ 394,083	
旅費	50,000		50,000	29,268	20,732	
消耗品費	700,000		700,000	429,570	270,430	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	73,000		73,000	0	73,000	
通信費	200,000		200,000	295,367	△ 95,367	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	150,000		150,000	195,210	△ 45,210	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	9,489	90,511	
職員等研修費	50,000		50,000	8,000	42,000	
振込手数料	50,000		50,000	756	49,244	
リース料	250,000		250,000	157,921	92,079	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	80,000		80,000	59,000	21,000	
その他	0		0	912,502	△ 912,502	
事業費	434,000	0	434,000	706,351	△ 272,351	
運営協議会経費	42,000		42,000	42,135	△ 135	予算：指定額
指定管理料充当 事業	392,000		392,000	664,216	△ 272,216	
管理費	5,578,000	0	5,578,000	5,591,447	2,696,345	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	3,069,000	0	3,069,000	2,709,792	3,069,000	
電気料金	1,069,000		1,069,000		1,069,000	
ガス料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	内訳が一致していません
水道料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
清掃費	1,000,000		1,000,000	940,059	59,941	
修繕費	474,000	0	474,000	206,443	267,557	予算：指定額
機械整備費	200,000		200,000	218,590	△ 18,590	
設備保全費	835,000	0	835,000	1,370,836	△ 535,836	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	570,510	△ 270,510	
消防設備保守	20,000		20,000	21,964	△ 1,964	
電気設備保守	40,000		40,000	425,491	△ 385,491	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	24,983	5,017	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	445,000		445,000	327,888	117,112	
共益費	0		0	145,727	△ 145,727	
その他	0		0	0	0	
公租公課	920,080	0	920,080	721,390	198,690	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	920,080		920,080	721,390	198,690	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	20,136,080	0	20,136,080	18,133,649	4,712,223	
差引		△ 1,183,350	△ 1,183,350	1,139,674	△ 5,032,816	

自主事業費収入	392,000		392,000	0	392,000	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	392,000		392,000	664,216	△ 272,216	
自主事業収支	0	0	0	△ 664,216	664,216	⇒自主事業(指定管理料充当)の自主事業費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	



**平成29年度「豊田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,897,000	△ 176,127	28,720,873	28,720,873	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	342,060	6,131,060	6,131,060	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	9,200	△ 9,200	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	127,885	△ 127,885	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	1,368	△ 1,368	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	1,368	△ 1,368	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,967,000		1,967,000	1,967,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>36,804,000</b>	<b>165,933</b>	<b>36,969,933</b>	<b>37,108,386</b>	<b>△ 138,453</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>32,670,000</b>	<b>0</b>	<b>32,670,000</b>	<b>36,200,485</b>	<b>△ 3,530,485</b>	
本俸	23,885,000		23,885,000	19,560,250	4,324,750	
社会保険料	4,500,000		4,500,000	4,644,832	△ 144,832	
手当計	2,700,000		2,700,000	11,029,886	△ 8,329,886	
健康診断費	50,000		50,000	38,274	11,726	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	31,750	3,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000	895,493	604,507	
その他	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>1,429,000</b>	<b>0</b>	<b>1,429,000</b>	<b>1,452,202</b>	<b>△ 23,202</b>	
旅費	100,000		100,000	61,308	38,692	
消耗品費	300,000		300,000	95,602	204,398	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	250,000		250,000	0	250,000	
通信費	150,000		150,000	188,604	△ 38,604	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	180,000		180,000	0	180,000	
図書購入費	20,000		20,000	0	20,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	2,523	47,477	
職員等研修費	80,000		80,000	30,800	49,200	
振込手数料	50,000		50,000	0	50,000	
リース料	199,000		199,000	83,413	115,587	
手数料	0		0	1,296	△ 1,296	
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	
その他	0		0	988,656	△ 988,656	
<b>事業費</b>	<b>1,203,000</b>	<b>0</b>	<b>1,203,000</b>	<b>1,056,607</b>	<b>146,393</b>	
協力医	630,000		630,000	525,000	105,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	113,000		113,000	49,029	63,971	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	331,578	△ 22,578	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>1,483,000</b>	<b>0</b>	<b>1,483,000</b>	<b>1,486,322</b>	<b>717,002</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	816,000	0	816,000	720,324	816,000	
電気料金	272,000		272,000		272,000	
ガス料金	272,000		272,000		272,000	内訳が一致していません
水道料金	272,000		272,000		272,000	
清掃費	250,000		250,000	249,888	112	
修繕費	126,000		126,000	54,873	71,127	予算:指定額
機械警備費	0		0	58,106	△ 58,106	
設備保全費	291,000	0	291,000	364,394	△ 73,394	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	151,654	△ 51,654	
消防設備保守	6,000		6,000	5,838	162	
電気設備保守	60,000		60,000	113,105	△ 53,105	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,640	360	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	118,000		118,000	87,157	30,843	
共益費	0		0	38,737	△ 38,737	
その他	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>36,785,000</b>	<b>0</b>	<b>36,785,000</b>	<b>40,195,616</b>	<b>△ 2,690,292</b>	
差引	19,000	165,933	184,933	△ 3,087,230	2,551,839	

自主事業費収入	573,000			137,085		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	573,000			531,607		
自主事業収支	0			△ 394,522		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

## 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：豊田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	
	収入	介護保険収入	4448	19536	70277	
その他		7867	0	157	0	
介護予防ケアマネジメント費		7867				
事業・負担金収入				49		
受取利息配当金収入				1		
その他				107		
<b>収入合計(A)</b>		<b>12315</b>	<b>19536</b>	<b>70434</b>	<b>0</b>	
支出		人件費	3663	17464	56433	
		事務費	14	135	214	
		事業費	25	1172	22139	
	管理費					
	その他	6770	0	1054	0	
	利用者負担軽減額			46		
	消費税					
	介護予防プラン委託料	6735				
	負担金支出			8		
	その他	35		1000		
<b>支出合計(B)</b>	<b>10472</b>	<b>18771</b>	<b>79840</b>	<b>0</b>		
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>1843</b>	<b>765</b>	<b>-9406</b>	<b>0</b>		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **豊田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ご近所茶話会	高齢者	73,793	地活	44,993	28,800			73,793	
	401人		包括						
	100円/1回		生活						
ご近所茶話会 (昼食会)	高齢者	35,843	地活	14,243	21,600			35,843	
	36人		包括						
	600円		生活						
子育てティーサロン	養育者及び乳幼児	77,100	地活	77,100	0		57,500		19,600
	913人		包括						
	無料		生活						
親子の広場 ぽっかぽか	養育者及び乳幼児	11,267	地活	11,267	0			907	10,360
	334人		包括						
	無料		生活						
あそび場テラス	養育者及び乳幼児	7,851	地活	3,651	4,200			7,851	
	10サークル		包括						
	100円/1組		生活						
食育講座	乳幼児の保護者		地活						
	52人		包括						
	無料		生活						
小学校福祉教育	地域住民		地活						
	390人		包括						
	無料		生活						
障害児余暇支援事業	個別支援級小・中学生	41,996	地活	27,946	14,050			30,936	11,060
	98人		包括						
	400円		生活						
地域活動体験講座 (豊田夏ボラ講座)	中学生以上	6,984	地活	6,984				4,744	2,240
	114人		包括						
	無料		生活						
豊田地域ケアプラザ祭り	地域住民	111,535	地活	4,735		106,800		99,295	12,240
	400人		包括						
	無料		生活						
ボランティア交流会	個人・団体ボランティア	32,806	地活	32,806				31,686	1,120
	40人		包括						
	無料		生活						
いきいきポイント登録研修会	地域住民		地活						
	7人		包括						
	無料		生活						
会場利用団体連絡会	会場利用登録団体	4,100	地活	4,100					4,100
	70人		包括						
	無料		生活						
ミニデイサービス・ サロン連絡会	サロン事業運営団体		地活						
	18人		包括						
	無料		生活						
地域支えあい講座	地域住民		地活						
	46人		包括						
	無料		生活						
豊田スリーAプログラムの会	地域住民	14,015	地活	14,015				14,015	
	354人		包括						
	無料		生活						
豊田スクエアステップ	地域住民		地活						
	664人		包括						
	100円/1回		生活						

## 平成29年度 自主事業収支報告書

若年性認知症栄区の集い	地域住民		地活		5,400	49,178	4,000	38,578	12,000
	83人		包括						
	300円/1人	54,578	生活						
豊田レコード喫茶	地域住民		地活					78,160	
	395人		包括						
	200円/1人	78,160	生活	25,960	52,200				78,160
地域出前講座	地域住民		地活						
	490人		包括						
	無料		生活						
権利擁護相談会	地域住民		地活						
	2人		包括				3,000		
	無料	3,000	生活						
介護者のつどい	介護者		地活						
	172人		包括	22,769		8,400		31,169	
	無料	31,169	生活						
学齢期の子供の居場所づくり勉強会	地域住民		地活						
	160人		包括						
	無料		生活						
豊田スクエアステップ	地域住民		地活						
	664人		包括						
	無料		生活						
ケアプラザ便りの発行	地域住民		地活	59,035				59,035	
	12回		包括						
		59,035	生活						
ケアプラザ運営協議会	地域住民		地活	42,135				42,135	
	34人		包括						
		42,135	生活						
健康相談	地域住民		地活						
	25回		包括	525,000			525,000		
	無料	525,000	生活						
健康懇談会	地域住民		地活						
	72人		包括						
	無料		生活						
豊田スタイル	地域住民		地活	103,033	51,700			129,313	
	164人		包括						
	500円、1000円	171,733	生活		17,000		30,000		12,420
コーヒーの淹れ方講座	地域住民		地活	4,000	0			4,000	
	34人		包括						
	無料	4,000	生活						
豊田地域ケアプラザ・笠間地域ケアプラザ・ケアポート田谷共催 地域勉強会	地域住民		地活						
	1回		包括		800				
		1,200	生活						
認知症予防講座AIAIAIの会	地域住民		地活						
	115人		包括						
	100円/1回	15,316	生活		10,400			3,316	12,000
ボランティア養成講座 サードエイジラボ	地域住民		地活						
	35人		包括						
	500円、1000円	53,842	生活		48,285			52,162	1,680
認知症理解講座	地域住民		地活						
	54人		包括						
	無料		生活						
世代間交流会	地域住民		地活						
	132人		包括						
	100円(大人)		生活						
ガイドボランティア養成講座	地域住民		地活						
	13人		包括						

## 平成29年度 自主事業収支報告書

	無料		生活					
出張虐待予防講座	地域住民		地活					
	70人		包括					
	無料		生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市豊田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ご近所茶話会	<p>【目的】 参加者同士や参加者とボランティアとの交流を通し、身近な地域での支えあいの関係を作りことを目的とします。また、地域で安否確認できる見守りの場の一つとして開催しました。</p> <p>【内容】 高齢者の交流サロン。各回体操やその月ごとに計画されたプログラム(ゲームや工作等)を行い、和菓子を食べながらお喋りし、交流を図りました。</p>	10回 (第3水曜日開催) 平成29年 4/19・5/17・6/21 7/19・10/18 11/15・12/20 平成30年 1/17・2/21・3/21

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ご近所茶話会 (敬老昼食会)	<p>【目的】 通常の茶話会の拡大版。茶話会への参加のきっかけづくりや閉じこもりを予防するため開催しました。</p> <p>【内容】 9月の敬老週間に合わせ、昼食会を開催。地域のボランティア活動団体の発表の場としました。</p>	1回 9月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て ティーサロン	<p>【目的】 者同士の仲間作りを目的とし、開催しました。</p> <p>【内容】 流、子育てに関する情報交換を行いました。 ボランティア「まつぼっくりの会」のメンバーが、親子の傾聴、親子のできる遊び、読み聞かせ等を実施しました。</p>	23回 (毎月2回開催) 平成29年 4月7日・21日 5月5日・19日 6月2日・16日 7月7日・21日 8月4日・18日 9月1日・15日 10月6日・20日 11月3日・17日 12月1日・15日 平成30年 1月19日 2月2日・16日 3月2日・16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子の広場 ぽっかぽか	<p>【目的】 地域内で親子で安全に過ごせる場を提供しました。また子育て支援として、保護者同士の交流や情報交換を目的として開催しました。</p> <p>【内容】 自由に親子で過ごせるフリースペースとして、10時～14時までオープンします。12時～13時はお弁当タイム。7、8月はプール遊びを行いました。豊田地区更生保護女性会の会員が中心となりボランティアとして会場内で見守り活動を行いました。</p>	12回 (毎月1回開催) 平成29年 4/11・5/9・6/13 7/11・8/8・9/12 10/10・11/14 12/12 平成30年 1/9・2/13・3/13

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそび場テラス	<p>【目的】 テラスの利用や、子育てサークル活動の場の提供をしました。</p> <p>【内容】 夏に、子育てサークル対象としたプール遊びを、テラスを利用して行いました。</p>	6回 7月 26日・29日 30日・31日 8月 2日・7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て講座	<p>【目的】 ケアプラザの広報、子育て情報の提供を目的に開催しました。</p> <p>【内容】 子育てサロンを活用して、子育てに関する講座を「栄区地域子育て支援拠点にこりんく」と共催、「食」に関する講座を実施しました。</p>	2回 1月9日 2月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
世代間交流会	<p>【目的】 子どもから大人まで世代を問わず交流することで、お互いに見守りあえる地域を目指すことを目的に開催しました。</p> <p>【内容】 子どもネットワーク委員会と共催して、遊びや食を通したプログラムを参加者に提供しました。</p>	1回 2月17日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学校福祉教育 (認知症講座等)	<p>【目的】 高齢者、障害者の理解を深めるとともにケアプラザについて広報し、また、理解し合うことで見守り合えるまちづくりを目的として実施しました。</p> <p>【内容】 小学生を対象に、高齢者、認知症高齢者について理解を深め講座を開催しました。プログラムとして①認知症サポーター養成講座 ②介護予防講座 ③ケアプラザ訪問・体験講座を行いました。</p>	7回 平成29年 6月23日 8月31日 9月5日・6日 12月12日 平成30年 1月22日・30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援事業	<p>【目的】 余暇支援を目的に障害児やその家族、地域との交流を図りました。また豊田地区およびその周辺地区からも参加者を増やし、広く周知していくために笠間地域ケアプラザと共催しました。</p> <p>【内容】 地区内の小中学校の特別支援級と本郷特別支援学校の児童生徒を対象に、季節行事を取り入れたプログラムを行いました。</p>	4回 平成29年 8月5日 10月22日 12月16日 平成30年 3月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域活動体験 豊田夏ボラ講座	<p>【目的】青少年に向けて地域活動やボランティア活動の啓発、担い手の発掘を目的として開催しました。</p> <p>【内容】地域の中学生を中心に豊田地域活動を体験する講座としてオリエンテーション、地域体験、振り返りを行いました。また年間を通じて、継続してボランティア活動にかかわってもらえるよう、「ボランティア活動記録カード」を配布しました。</p>	7月25日～8月23日

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田地域ケアプラザ祭り	<p>【目的】 地域住民やケアプラザを利用する団体等の交流とケアプラザの周知を目的に開催しました。</p> <p>【内容】 隣接している豊田地区センターと共催し、会場利用団体の協力のもと行いました。模擬店やお楽しみコーナーの設置や会場利用団体の活動発表も行いました。</p>	1回 9月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>【目的】 ケアプラザに登録、活動しているボランティア同士の交流の場を設けるとともに、ケアプラザから出席者に対し日頃の活動への感謝の意を伝えました。</p> <p>【内容】 ボランティア同士の懇談の場を設けるとともに、感謝状をお渡しして日頃の活動に敬意を表しました。</p>	1回 3月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p>【目的】 65歳以上の方を対象にボランティア登録研修会を区内6ケアプラザで持ち回りで開催しました。ボランティア活動による、健康づくり、生きがいづくり、社会貢献の意識を持つことを目的としました。</p> <p>【内容】 制度の説明、ボランティア活動の基本等を講義し、ボランティア登録を行います。</p>	1回 10月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
会場利用団体連絡会	<p>【目的】 ケアプラザの会場利用団体の情報交換と利用上の課題を共有し、地域の団体が使いやすい施設を目指し開催し、避難経路の確認も行いました。</p> <p>【内容】 福祉保健活動団体について、ボランティア活動について、ケアプラザの利用方法についてなどを再確認しました。また、発災時のための避難経路の確認も行いました。</p>	2回 1月20日・30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス・サロン連絡会	<p>【目的】 豊田エリア内のミニデイ・サロン実施団体及び地区社協との連携と情報共有を目的に実施。</p> <p>【内容】 豊田地区で実施されているサロンおよびミニデイサービスの又各サロンの担い手を対象とし、「認知症の方への対応」についての講座を行いました。グループホームひかりの運営企業に講師を依頼した。またケアプラザ・区役所・区社協からの情報提供も行った。</p>	1回 8月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支えあい出前講座	<p>【目的】 支えあい連絡会の小委員会見守りネットワーク委員会と共催し地域福祉保健計画に基づいて、より身近な場所で支えあい、見守り活動の理解を深めることを目的に出前講座を開催しました。</p> <p>【内容】 地域サロン、見守りの活動団体に認知症理解のための講座を実施しました。</p>	2回 平成29年7月20日 平成29年12月9日



## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田スリーAプログラムの会	<p>【目的】 スリーAプログラムを定期的に開催し、認知症予防と居場所づくりに取り組みました。</p> <p>【内容】 3Aプログラムを地域住民むけに定期的に開催し、認知症予防を進めるとともに居場所作りを行いました。またケアプラザの機能を周知し、気軽に相談できる体制を作りました。</p>	24回 (毎月2回開催) 平成29年 4月14日・28日 5月12日・26日 6月9日・23日 7月14日・28日 8月4日・25日 9月8日・22日 10月13日・27日 11月10日・24日 12月8日・22日 平成30年 1月12日・26日 2月9日・23日 3月9日・23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防プログラム AIAIAIの会	<p>【目的】 身近な場所で3Aプログラムを定期的に開催し、認知症予防・介護予防・居場所づくりにつながることを目的としました。</p> <p>【内容】 地域住民むけに定期的に開催することにより、より身近なところに居場所を増やし、地域で見守り合う体制作りを行いました。</p>	12回 (毎月第4水曜日開催) 平成29年 4/26・5/24・6/28 7/26・8/23・9/27 10/25・11/22 12/27 平成30年 1/24 2/28・3/28

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症 栄区の集い	<p>【目的】 栄区内ケアプラザ6館が協力し、若年性認知症の人とその家族を支援を目的として「笑風の会」を開催しました。</p> <p>【内容】 若年性認知症の方と家族の集いを栄区内6地域ケアプラザ共催、関係機関の協力を得て実施しました。家族同士で話し合う場を設けると共に、ご本人の会ではレクリエーション等のプログラムを提供しました。</p>	3回 平成29年 6月25日 11月26日 平成30年 2月18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田レコード喫茶	<p>【目的】 個別支援、地域支援を展開するため、孤立しがちな、主に男性が参加できるサロンを開催しました。事業を通して新たな担い手の発掘、活動場所の提供を行うことを目的としました。</p> <p>【内容】 レコードを聴きながら、コーヒーやおしゃべりを楽しむ、交流の場を提供します。またケアプラザの周知と気軽に相談できる体制も整えます。</p>	12回 (毎月第2月曜日開催) 平成29年 4/10・5/8・6/12 7/10・8/14・9/11 10/9・11/13・ 12/11 平成30年 1/8・2/12・3/12

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域出前講座	<p>【目的】 ケアプラザの周知、身近な地域で見守りあえる地域づくりを目的に、出前講座を開催しました。</p> <p>【内容】 豊田地区内のミニデイ・サロンやシニアクラブ、自治会町内会などの小地域で、権利擁護、認知症予防、介護予防「口腔ケア」、「栄養かるた」、包括周知などの啓発活動を行いました。</p>	9回 平成29年 5月 18日・20日 27日・28日 6月 8日・9日・15日 17日・27日

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊田スタイル	<p>【目的】 介護予防を目的に気軽に集まり、交流できる場、仲間づくりの場の提供を行いました。 様々なプログラムを通してグループとして地域活動に参加し、担い手となることを目的として講座を開催しました。</p> <p>【内容】 趣味活動やボランティア活動につながる情報提供や、実際に体験してもらう講座を開催しました。また主に区内在住の定年前後の男性をターゲットとし、地域活動につなげる講座を開催しました。</p>	9回 平成29年 6月7日・21日 7月5日・19日 11月1日・8日・29日 平成30年 3月1日・20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
在宅における高齢者虐待について出張研修	<p>【目的】在宅サービス事業者に対して高齢者虐待に関する情報提供・啓発を行い、早期発見・予防することを目的とします。</p> <p>【内容】区内6プラザ包括社会福祉士が事業所へ出向き、高齢者虐待の現状・支援者だからこそできる対応について研修を行います。</p>	1回 平成29年7月14日・9月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
司法書士・行政書士による権利擁護相談会について	<p>【目的】 地域住民の権利擁護について、本人・家族及び支援者が専門的な相談をできる機会を確保し、安心して介護・生活ができることを目的とした相談会を開催しました。</p> <p>【内容】 毎月区内6プラザ持ち回りで、司法書士・行政書士による相続・遺言・成年後見などの個別相談を実施しました。</p>	1回 11月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>【目的】 介護者が孤立せずに自宅介護が続けられるよう、精神面の支援の一環として、役に立つ情報提供および介護者同士の情報交換や仲間づくりを目的に定期的に開催しました。</p> <p>【内容】 介護に役立つ講習会や料理教室等を行いました。また本人プログラムとしてかるた作り等、簡単な作業を行いました。</p>	12回 (毎月1回開催) 平成29年 4/27・5/26・6/22 7/27・8/24・9/29 10/26・11/30・ 12/28 平成30年 1/25・2/22・3/22

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザだよりの発行	<p>ケアプラザ事業、地域活動状況について関係団体へ情報提供を行うため、関係機関での配架や、連合町内会自治会の協力により各世帯への回覧を行いました。</p>	12回 (毎月1回発行) 平成29年4月 ～平成30年3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ運営協議会	<p>ケアプラザ運営について協議することを目的とし、各部門の事業計画及び報告を行い検討しました。</p>	2回 平成29年 10月5日 平成30年 3月14日

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康相談	地域住民やデイサービス利用者、地域の専門職等に対する医療専門相談の場として、ケアプラザ協力医による健康相談を行いました。	20回 平成29年 4月7日・21日 6月2日・16日 7月7日・21日 8月4日・18日 9月1日・15日 10月6日・20日 11月17日 12月1日・15日 平成30年 1月19日 2月2日・16日 3月2日・16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ協力医 和田医師の健康講話！	【目的】 地域住民に向けて、健康意識の向上、健康づくりの推進を目的とし開催。 【内容】 ケアプラザ協力医による健康講話を1回開催しました。テーマは「ある開業医の裏話」。健康に関する話を楽しくお聞きいただきました。	1回 平成29年 7月6日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーの淹れ方講座	【目的】 定年後の男性、引きこもりがちな高齢者を対象に、趣味を通じた仲間づくり、地域活動周知を目的に開催しました 【内容】 UCC上島コーヒーに講師派遣を依頼し、コーヒーに関する講義、実践を行いました	1回 平成29年 7月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の勉強会	【目的】 豊田地域ケアプラザ、笠間地域ケアプラザ、ケアポート田谷の三者共催事業として、主に田谷町・長尾台・金井町の皆さまを対象にリハビリテーションの大切さをお伝えし、地域包括ケアシステム構築を目指して開催した。 【内容】 タイトルは「日常生活のリハビリテーション」。リハビリとはどういうものかについて簡単にご説明し、また後半では個別の相談会としました。	1回 平成29年9月28日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア養成講座 サードエイジラボ	【目的】 定年後の男性、引きこもりがちな高齢者を対象に、趣味を通じた仲間づくり、地域活動周知を目的に開催しました 【内容】 マジック講座、コーヒーの淹れ方講座、コンテナガーデニングを行い、楽しみながら地域活動へのきっかけづくりを行いました	3回 平成29年 6月24日 7月8日 22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支え合い講座	【目的】 地域での見守りの体制づくりの推進を目的に開催しました 【内容】 住民支え合いマップづくり入門講座を自治会町内会、地域活動者に向け開催しました。また、障がいについての理解を啓発するため発達障害について当事者の親を講師依頼をし、講座を開催しました。	2回 平成29年 9月12日 平成30年 3月14日

## 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢期の子供の居場所づくり勉強会	<p>【目的】 学齢期の子どもと地域住民の居場所、たまり場の実施に向けた検討会</p> <p>【内容】 学齢期の子どもの現状や居場所についての勉強会を開催。実施に向けた検討を行った。</p>	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症理解講座	<p>【目的】 認知症の理解を深め、認知症になっても安心して暮らせる、見守り合い支え合える地域を目指し開催</p> <p>【内容】 認知症の方へのかかわり方をテーマにDVDの上映とグループホーム運営会社にて講師を依頼し、対応方法についての講義を行った</p>	1回 平成29年 8月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
世代間交流会	<p>【目的】 地域の乳幼児・小学生・中学生と高齢者との世代を越えた交流の場を設けることにより、お互いを知りあい関係性を築くことで、互いに支えあえる地域づくりに繋がりました。</p> <p>【内容】 工作や昔遊び等のプログラムを通じて互いに教え、教わりながら世代間の交流を図る。 昼食(カレー)を提供し多くの参加者を募ることで、食を通じた参加者同士のコミュニケーションに繋がりました。</p>	1回 平成30年 2月18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガイドボランティア養成講座	<p>【目的】 豊田地区の障害児者によるガイドボランティア利用率が高いことを鑑み、地域にガイドボランティア活動への理解を深めるため豊田地域ケアプラザにて養成講座を開催</p> <p>【内容】 ガイドボランティアについて説明と活動者からの活動紹介等を行った</p>	1回 平成30年 3月15日